

おはよう戸田

～ずっと住みたい町をつくります！～



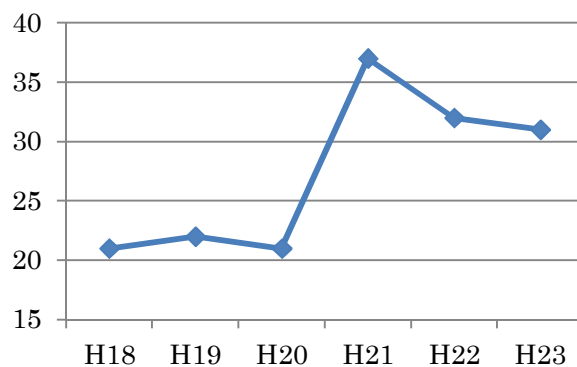
酒井いくろう活動報告
(2012年3月特別号)
戸田市議会議員
酒井いくろう

自殺対策強化月間(3月)特集号

平成23年もまた年間30人超…戸田市の自殺者数

長引く不況を背景に、日本全国で毎年3万人以上の多くの方が自殺により亡くなっています。戸田市においては、平成21年に自殺者数が急増(37人)、平成23年も31人の方が自殺により亡くなっています(図1)。人口10万人あたりの自殺者数で比較すると、戸田市の自殺率は国・県の平均を3年連続で上回っています(図2)。

全国的な傾向として、自殺者の大部分は中高年が占めている一方、戸田市の平均年齢は非常に若い(戸田市39才。全国平均45才)。つまり、「戸田市は中高年の割合が少ないのに自殺者は多い」ということです。このことは、戸田市の状況が数値以上に深刻な状況であることを表しています。

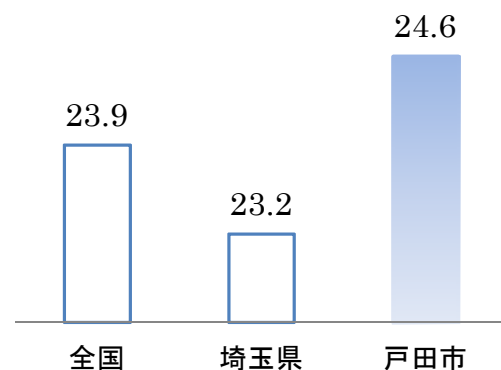


図① 市内の年間自殺者数

自殺対策強化月間について

全国で春と秋の2回の自殺シーズンにキャンペーンを行うことで、大きな成果が上がっています。戸田市においては昨秋、初めてキャンペーンを実施。市広報での呼びかけや、図書館における自殺関連書籍や啓発資料の展示、講演会の開催などが行われました。

サカイもその動きに合わせてキャンペーンを実施。特に「相談窓口を広く知って頂く」ことを目指し、駅頭キャンペーンを行っています。



図② 自殺率(平成23年)

迷った時は、まず相談！

戸田市の相談窓口(心の不調・不安や悩みごと)

戸田市福祉保健センター・相談支援担当

048-446-6453

埼玉いのちの電話(夜中や休日など)

048-645-4343

(24時間・365日)

↓埼玉県の自殺対策キャラクター

『まあ、いっか』。



まあいいか、
と思うゆとり
をアピールし
ているそう
です...

【自己紹介】酒井郁郎(さかい いくろう) ●1975年3月生まれの37才 ●東京大学医学部卒業、同大学院修了(医療政策) ●2000年: マッキンゼー入社(コンサルタント) ●2003年: ㈱ポピンズ入社(保育) ●2004年～: ㈱エジュカルサポートを経営(医学教育) ●政党: 無所属 ●2005年: 市議選に立候補(落選) ●2009年: 再度、市議選に立候補(当選) ●政党: 無所属 ●趣味: 総合格闘技(5年) ●現在の重点政策: ①税金のムダづかい一掃 ②子育てしやすい環境づくり&児童の学力向上 ③年をとっても障害があっても普通に生活できる町づくり

戸田市の自殺問題について

私はこれまで一貫して自殺の問題を取り上げてきました。この問題は、年間20人とか30人とか、そういう単位の市民の命を直接左右する問題だからです。そうした重大な問題であるにもかかわらず、これまで優先順位は決して高く扱われてはきませんでした。その結果、年間30人以上の方が自殺で亡くなっています。

これ以上の悲劇を拡大しないため、次のような対策を行うべきであると考えます。

①相談窓口の拡充、広報の強化

対策の第一歩は、相談窓口を広く知って頂き、いざという時に利用してもらえるよう備えることです。しかしながら、戸田市民が相談窓口を知っている割合は10%台(平成22年度;市調査)と、あまり認知されていないのが現状です。そこで、相談窓口の体制を拡充するとともに、集中的なキャンペーンの実施などPR強化が必要と考えます。

②市役所内外の連携強化

自殺問題は、福祉部局の他、市民相談(金銭問題など)、救急(自傷者の搬送)、医療機関、警察(自殺未遂情報)、労基署やハローワーク(雇用の問題)、教育委員会(いじめ問題)…など、国・県・市・民間の各機関との連携が欠かせません。最近、市役所内の「自殺対策実務者委員会」が発足しましたが、役所外との連携はこれからの課題です。

③データの収集とそれに基づいたターゲット設定

戸田市の自殺者の傾向は、①団塊世代の男性、②独居者、③過去に自殺を試みたことがある方…の割合が他市と比較して顕著に高いなど、特異的であることがうかがえます。こうした特徴をとらえ、対策に生かすことで効果が高まります。

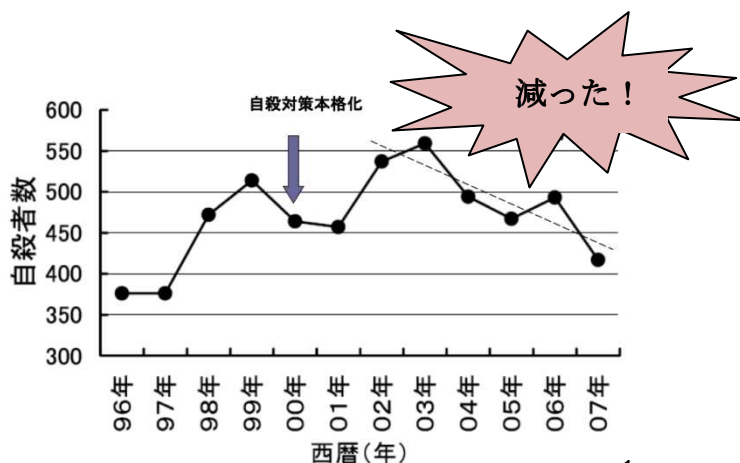
…これら3点はどれも自殺対策の基本的な要素ですが、戸田市においては十分に実施されているとは言えません。

まずは対策の第一歩として、できる限り速やかな着手を求めていると思います。

自殺対策の効果

事例①秋田県

- ・全国でも有数の高い自殺率
- ・2000年から官民挙げての自殺対策を実施



事例②自殺対策キャンペーン(2010)

一昨年から全国において、春と秋のキャンペーンを本格的に実施。

自殺者数(2009年、2010年)



※ 当然ながら、いわゆる「自殺対策」は根本的な解決方法ではありません。本当に自殺をなくすには、人のつながりを再生し、希望の持てる国をつくる必要があります。そうした長期的な対策と、本キャンペーンのような即効性のある対策を並行して実施することが必要であると考えられています。

【ご意見・ご感想をお待ちしています】

酒井郁郎(さかい いくろう)

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田 1-18-1(議会事務局内)

TEL/FAX:048-432-9168

Eメール: ikuro.sakai@gmail.com

チラシ内容の詳細は

こちらです

↓↓↓

酒井郁郎ウェブページ

<http://sakai.sub.jp/>